

## 議長不信任決議

この度、全員協議会で、私が1人会派のあり方問題に関し、私自身も1人会派になってまで提案しましたが、議長はこの問題の根本的な解決をしようともせず、安易に自身を含めでの3つの1人会派をひとまとめにし、問題が解決したかの様にしているのは全く議長の役目を果たしていない。

議長は中立公平に徹し、議会の代表として議会の権威と地域の向上、住民ニーズの実現のために職務を遂行する義務がある。いやしくも支持した議員やそうでない議員を区別するような言動をしてはならず、その疑いをかけられるようであってはならない。

議長が議長選立候補にあたっての所信表明では、この様に訴えておりました。

『私は議長立候補にあたり、市民の声はもとより、議員各位の声にしっかり耳を傾け、公平公正を旨として、どの会派にも属さず、市民のために尽くす姿勢を崩さず、自らを厳しく律してまいります。』

と表明したにもかかわらず、自ら会派を結成するのは、(明らかな公約違反であり、)いかななものか。

また、議長選以来、議会が分裂状態になっているにも関わらず、一向に議会をまとめようとしません。

よってここに議長不信任決議案を提出いたします。

2022年3月25日